



．．．麻溝地区．．．

麻溝地区は、相模原ギオンスタジアム、相模原麻溝公園や県立相模原公園、相模川周辺などは、緑豊かで史跡や景勝地も多く、自然を満喫できる地区です。また、圏央道の「相模原愛川インターチェンジ」が開設され、今後はさらなる発展が期待されます。

麻溝地区優秀賞



【撮影者】オレンジパパ

【タイトル】夕焼け 八景の棚から

【撮影場所】八景の棚

【コメント】一度、ここから夕焼けを撮ってみたいと思っていましたが、やっとチャンスに恵まれました。

審査員寸評

実に美しい風景です。オレンジ色に染まった空が田んぼに映り込み、夕景独特の情感が出ています。露出調整も的確で技量を感じます。

【撮影者】坂上 和正

【タイトル】八景の棚ー秋

【撮影場所】八景の棚

【コメント】12月が近づくと、お月様は大山と仲良くなります。落日に大山がすっと立ち上がり、相模川がキラキラと光ります。八景の棚の真っ赤なもみじが落日直後の残照に輝きます(少しストロガを入れてみました)。





【撮影者】花崎 達夫

【タイトル】踊念仏

【撮影場所】原当麻 時宗 無量光寺

【コメント】一遍上人は踊念仏で時宗を全国に広めたと言われていいます。盆踊りのルーツもその踊念仏だそうです。踊り念仏はどのようなものか、見てみたいと思っていました。幸い、市の広報で見る機会に恵まれました。

【撮影者】花崎 達夫

【タイトル】裏方さん

【撮影場所】相模原公園 菖蒲園

【コメント】毎年楽しみにしている花菖蒲。「菖蒲まつり」の前日に様子を見に行きました。今年は特に綺麗に咲いているように感じました。よく見ていると、裏方さんが居るのではないですか。菖蒲田に入って一生懸命に、余計な花を摘んでいる人達が居ました。綺麗な花を見せてくれて有難う。



【撮影者】宮本 啓之

【タイトル】噴水と紅葉

【撮影場所】相模原公園

【コメント】相模原公園でのヒトコマ。晩秋の色鮮やかな紅葉と沸き上がる水の躍動が自然と人工の融合を見せている。わずかな期間にしか見られない風景。



【撮影者】境 みのる

【タイトル】山門

【撮影場所】当麻山無量光寺

【コメント】秋の一日、当麻山無量光寺を訪れた。山門を下りる時に参拝のご夫婦とすれ違いました。ご挨拶をし、撮影させて頂きました。山門に入るお二人がまるで額縁の中に入って行く様な感じがした時、シャッターを押しました。



【撮影者】境 みのる

【タイトル】秋の当麻山

【撮影場所】当麻山無量光寺

【コメント】秋の一日、当麻山無量光寺を訪れた。山門を通り抜けるとカエデの紅葉が素晴らしかった。カエデの前で山門を振り返ってカメラを構えた。日本の秋を感じる一瞬でした。

【撮影者】高橋 豊吉

【タイトル】厳 寒

【撮影場所】相模原公園

【コメント】雪の降り続く日、人影のない公園を散策に訪れているころ、静寂の中に日頃利用しているベンチが、寒さに耐えている情景が、寒中を感じシャッターを切りました。





【撮影者】高橋 豊吉

【タイトル】錦 秋

【撮影場所】相模原公園

【コメント】私たちが身近でいつも行く公園が、季節ごとに訪れる人々を楽しませてくれる憩いの場所です。四季の移り変わりで、さまざまな景色になり、色彩の素晴らしい情景を収めました。

【撮影者】村上 清光

【タイトル】小春日和に誘われて

【撮影場所】相模原公園

【コメント】小春日和の昼下がり、相模原公園を散歩中、眩しく太陽を浴びたモミジの紅葉と、日向ぼっこをしている人の姿が、晩秋の暖かなひとときを思い浮かばせていましたのでカメラに収めました。

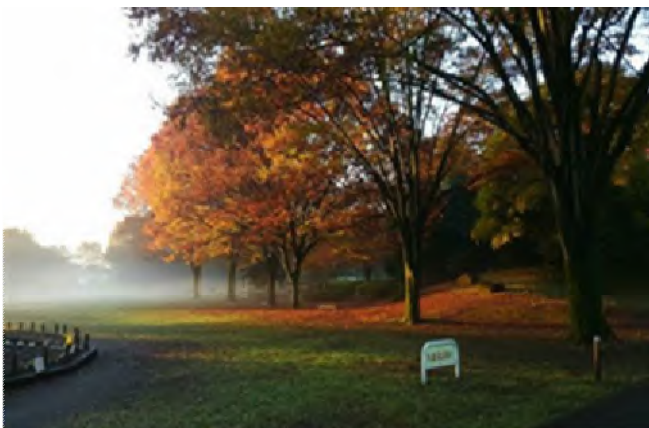


【撮影者】横山 毅明

【タイトル】朝一番

【撮影場所】相模原公園

【コメント】朝散歩途中、霧が出て左手から太陽が差し込み紅葉と地面の落ち葉が綺麗だったので携帯で撮りました。





【撮影者】西辻 豊

【タイトル】春の訪れ

【撮影場所】相模原公園

【コメント】2016年4月、ようやく暖かい日が続き、草花だけでなく、人も外に出始める陽気となりました。



【撮影者】山口 光子

【タイトル】グリーントワーからの秋景

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】麻溝公園のグリーントワー展望台からは、大山をバックに相模川河岸段丘や、ギオンスタジアム、女子美大、動物広場など広々とした風景が望めます。時々散歩の途中に上ってながめています。ここは西側ですが、北は城山、南は座間キャンプ、東は横浜ランドマークタワーとぐるっと1周望めます。南区が誇る気持ち良い楽しい場所です。

【撮影者】山口 光子

【タイトル】でいらぼっちの足跡で遊ぶ

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】麻溝公園には、でいらぼっちの大きな足跡の砂場があります。休日には多くの親子連れで賑わいます。幸せなひと時をグリーントワーの展望台からながめて私もうれしくなります。



第5回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】吉富 明德

【タイトル】赤褐色に輝く幻想的なメタセコイア

【撮影場所】相模原公園

【コメント】相模原公園のシンボル、生きた化石といわれる100本のメタセコイア並木、その樹形全体の壮大さと赤褐色に色づいた美しさ、そして噴水広場の水鏡に投影された幻想性を狙った一枚。

【撮影者】荻原 雅子

【タイトル】秋日和

【撮影場所】相模原公園

【コメント】青空を背景に周りはメタセコイアの木立で囲まれ、爽快な秋のひと時を過ごしました。



【撮影者】荻原 啓二

【タイトル】憩いの散歩道

【撮影場所】相模原公園

【コメント】秋の陽射しが降り注ぐ散歩道で小さな太陽と2人の人物を入れて撮影しました。





【撮影者】内藤 友太
【タイトル】りりちゃんず
【撮影場所】相模原公園
【コメント】相模原相模原公園にあるりりちゃん橋で撮影しました。りりちゃんは25年前に開催された、緑化フェアのマスコットキャラクターです。



【撮影者】内藤 友太
【タイトル】勢いよく上がる大噴水
【撮影場所】相模原公園
【コメント】相模原公園の一大スポットである、大噴水。一番高い所まで水が噴き上がる時は、周りかびしょ濡れになります。撮影時は冬だったのでとてもひんやりして冷たかったですが、夏のとても暑いときに浴びると結構涼しいので、おすすめですよ！

【撮影者】櫻井 靖士
【タイトル】さくら散る広場
【撮影場所】相模原公園 - せせらぎの園
【コメント】相模原公園のかたに教えてもらい訪ねタイミングよく散る桜の楽しさと美しさを楽しみました。





【撮影者】櫻井 靖士

【タイトル】さくら道

【撮影場所】相模原公園 - せせらぎの園

【コメント】相模原公園のせせらぎの園、池のまわりの道はさくらの園へ続く道の雰囲気でした。

【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】秋高し

【撮影場所】相模原公園

【コメント】降り注ぐ晩秋の光に誘われて、公園の木々は深まる秋の姿へとその装いを変えていった。そして間もなくやってくる冬に備え、澄み切った空へ向かってその美しさを精一杯に表し、私に感動の景色を見せてくれたのです。



【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】時節到来

【撮影場所】相模原公園の水無月園

【コメント】眠りから覚め、時節の到来を知った花菖蒲は梅雨晴れの空に向かって蕾を開き、やがて水無月園を満開の花々で飾り、訪れる人たちを感動の世界へといざなうのです。



【撮影者】片岡 飛鳥

【タイトル】夕暮れの2人

【撮影場所】麻溝公園側のリリちゃん橋

【コメント】冬至の日の夕方で丁度夕焼けが綺麗と思い撮影しました。



【撮影者】石井 敬一郎

【タイトル】収穫の秋

【撮影場所】当麻水田

【コメント】秋晴れに誘われて散歩に出た。紅葉にはまだ早いものの、田んぼへ行ってみると稲刈りはもう済んでいた。稲作は日本の原風景。首都圏のベッドタウンとして栄える相模原市にも、まだこんな風景が残っていたのかと懐かしさが込み上げた。わずかに色づき始めた木々を背景に、懐かしい風景と収穫の秋の訪れを撮り留めた。

【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】冬の朝

【撮影場所】相模原愛川IC付近

【コメント】圏央道を通るときにいつも通る道です。空気の澄んでいる冬の朝は景色がきれいなので撮影しました。





【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】スタジアムと丹沢の山々

【撮影場所】相模原麻溝公園の展望台

【コメント】僕は自然が好きなので、この展望台から見る丹沢の山々がとても気に入っています。

【撮影者】和泉 勝雄

【タイトル】散歩道

【撮影場所】相模原公園

【コメント】毎年メタセコイヤの紅葉を見て居りますが今年は時期が遅れてしまいました。でもお一人の男性の方がひと休みして又歩き始めました、チャンスと思いシャッターを押しました。季節の変化は早いものですね。



【撮影者】佐藤 千夏

【タイトル】Sunset クリスマス

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】夜ではなく夕暮れ時に、ライトアップされたリースを撮りました。夜のきらびやかな雰囲気とは違い、夕暮れと重なることによって控えめな美しさを感じました。